

「カリキュラム評価チェックシート」 の特徴と利用の手順

こんな特徴があります！

アンケート結果の分析
を踏まえて作成

県内の小・中学校の実態を踏まえて、充実と改善のための課題と方策を一覧表にしました。

ステップアップを目指す
ための3段階を設定

各学校の実態やカリキュラムの整備状況に応じて、改善のための努力目標が設定できるように、段階ごとに目安を示しました。

チェックシート内容の
加除修正、変更が可能

学校の実態や改善の必要性、重要性に応じて、見直しの観点や項目、段階の内容を変えることができます。

カリキュラム評価チェックシート(一部抜粋)

観点	項目	段階 1	状況 目標	段階 2	状況 目標	段階 3	状況 目標
目標	学校の目標	教師間の共通理解の下に設定している	u	教師から見た児童生徒の実態や学校・地域の特色を踏まえて設定している	e	児童生徒の実態・保護者や地域の願いのアンケート結果も踏まえて設定している	e
	学年の目標	学校の目標を受けて教師間の共通理解の下に設定している	u	教師から見た児童生徒の実態を踏まえて設定している	e	児童生徒の習熟度や学習状況の調査を踏まえて設定している	e
時間	時間割編成	効果的学習が行えるように学校全体で時間割の工夫を行っている	u	時期や学習内容に応じて弾力的な時間割を編成している	u	2時間単元やモジュールを用いる等、学校全体で弾力的な時間割の工夫を行っている	e
	選択教科との時数配分(中学校)	選択教科と「総合的な学習の時間」の時数を専らに配当している	u	生徒の興味・関心を踏まえてそれぞれに必要な時数を配当している	e	生徒の興味・関心に基づいた学習内容に必要な時数をそれぞれ配当している	e
内容	内容分析	「総合的な学習の時間」のねらいを踏まえて育てた、資質・能力・態度を益定している	u	「総合的な学習の時間」のねらいと自校で定めた目標や内容に基づいて育てた、資質・能力・態度を益定している	u	教科等の目標や内容との関連を明確にし、発達段階や児童生徒の学習状況を踏まえて育てた、資質・能力・態度を益定している	e
	学習スキル	調べ方やまとめ方、報告や発表、議論の仕方等に身に付けさせたいスキルを示している	u	身に付けさせたいスキルを発達段階に応じて設定している	e	個々の児童生徒のレディネスを把握し、発達段階や学習状況に応じて設定している	e

チェックシート 利用の手順

評価の担当者を確認します。

- ・学級担任
 - ・授業担当者
 - ・学年部会
 - ・総合的な学習部会
 - ・教育課程部会
 - ・研修推進委員会 等
- * 学校の分掌組織を機能させることが大切です。

各項目ごとに評価し、当てはまる段階の「状況」欄にチェックをつけます。
* チェックシートを基にして、職員間で意見や情報の交換を行うことが大切です。
* 学校の現状について、全職員の共通理解を図ります。

改善のための努力目標として、当てはまる段階の「目標」欄に 印を付けます。
* 各担当者や部会の分掌内容に応じ、必要な「観点」や「項目」を選びます。

印を付けた「目標」から、具体的な改善策を検討します。
* 改善の必要性の高い「項目」を優先したり、関連した「目標」を組合せたりします。

改善策について、共通理解を図り役割を分担します。
* チェックシートの評価結果を全職員で確かめます。

* 「カリキュラム評価チェックシート」に関するご意見、ご感想をお知らせください。
TEL 0270-26-9215 (産業科学G直通)